

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

このたびは弊社製品をお買
い上げくださいまして誠に
ありがとうございます。
末長くご愛用いただきため
に、この説明書をよくお読み
いただけ、正しくお取り扱
いくださいます。
なお、この取扱説明書は大
切に保存し、必要に応じて
ご覧ください。

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に
使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。
誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤って
ボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さ
なお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万
一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してく
ださい。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、
使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ①金属・皮革に対するアレルギー
- ②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③体調不良等

- ・バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通
りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕
をもたせてご使用ください。
- ・「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、に
おいの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものでは
ありません。
- ・万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相
談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚す
ことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用く
ださい。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くな
ります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本
機が故障する原因となることがあります。



オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩き
ながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒
やけがの原因となることがあります。

夜間、車両が通行する道路や路面の安全を確認できない走路
などで、ランニングをしながら時計を見ることは危険ですの
でおやめください。交通事故、転倒の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは
危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となる
ことがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを
運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり
危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることが
あります。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお
使いいただき、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を
未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と
意味は次のようにになっています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

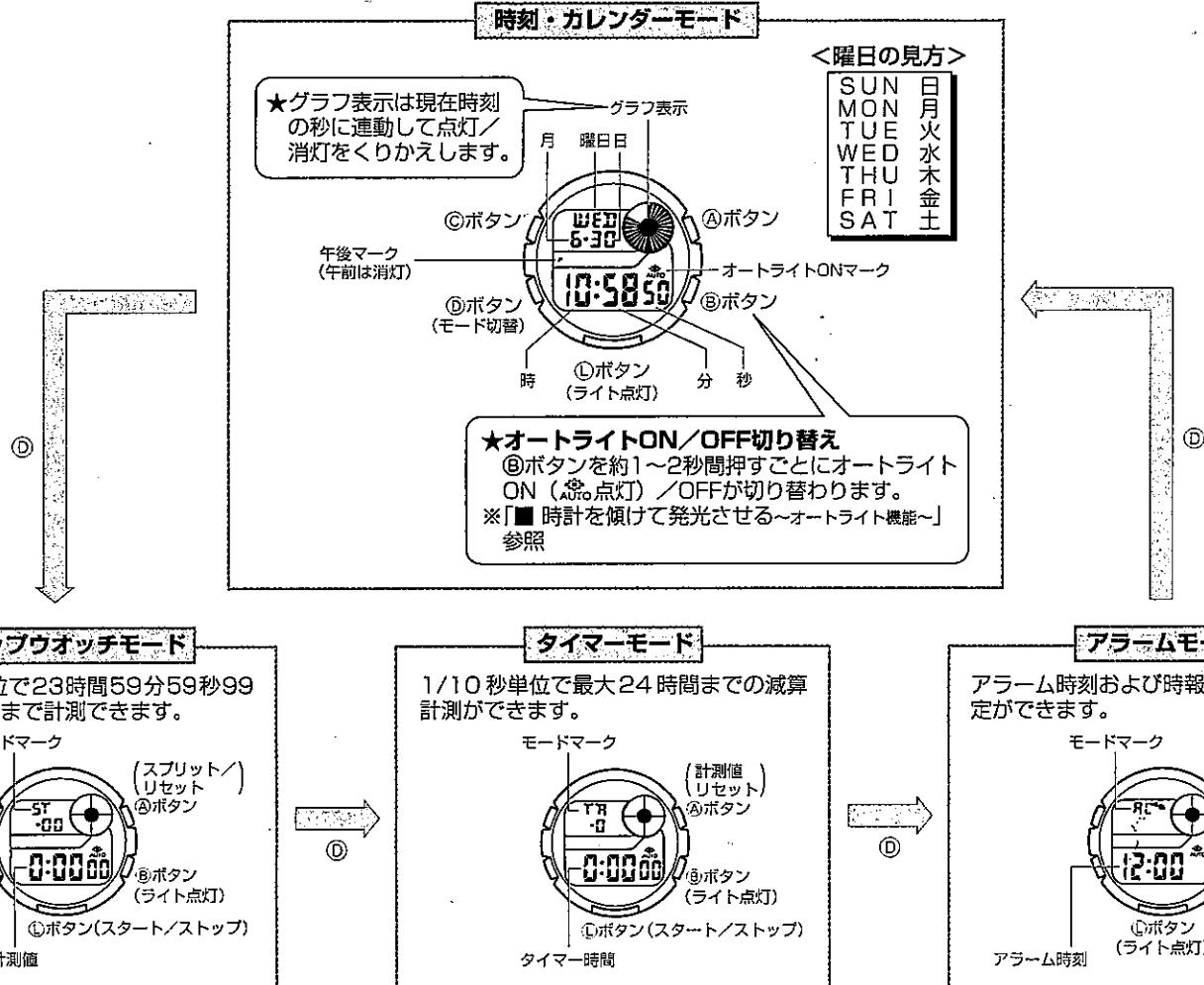
○記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）



操作のしくみと表示の見方

① ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。



時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ 秒の合わせ方…30秒以内の遅れ／進みの修正

月に1度くらいこの秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

①ボタンを1~2秒間押します。

→「秒」が点滅します。

<時刻・カレンダーモード>



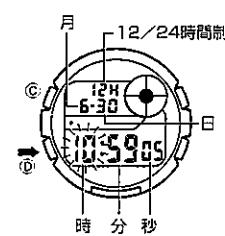
■ 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) 時刻・カレンダーモードのときに、

①ボタンを1~2秒間押します。

→「秒」が点滅します。

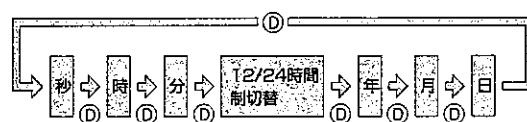
<時刻・カレンダーモード>



(2) セット箇所を選ぶ

①ボタンを押します。

→①ボタンを押すごとにセット箇所 (点滅表示) が以下の順に移動します。



(3) 点滅箇所のセット

①または④ボタンを押します。

→①ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、④ボタンを押すと1つずつ戻ります。

※それぞれ押し続けると数字が早送りします。



上記(2)～(3)の操作をくりかえし行ない、時刻・カレンダーを合わせてください。

※12/24時間制切替のときは、①ボタンを押すごとに12時間制“12H”と24時間制“24H”とが切り替わります。

※「時」のセットのとき午前／午後(P)、24時間制にご注意ください。

※「年」は1995～2039年までセットできます。

なお、「年」をセットすると自動的に曜日を表示します。

(4) セットが終わりましたら、①ボタンを押して点滅を止めます。

※秒 (時刻・カレンダー) セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを2回押すと、タイマーモードになります。
タイマーは、1/10秒単位で減算計測を行ないます。セットした時間を経過すると10秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

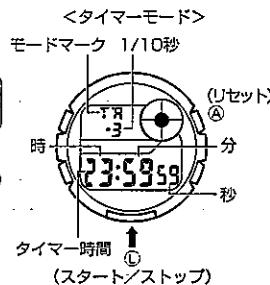
■ タイマーの使い方

タイマーモードのときに、

①ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします。

→ 減算計測は1/10秒単位で行ないます。
★計測ストップ後①ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。

★ロストライムがあるときは、減算計測中①ボタンでストップ後、もう一度①ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。



■ タイムアップになると

セットした時間を経過すると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■ タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の2種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップになるとタイマーハンドルを表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）（グラフ表示点灯）

タイムアップになるとタイマーハンドルに戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

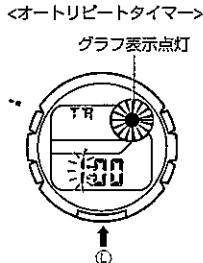
★ タイマー方法の選び方

タイマーハンドルを表示するときに、

①ボタンを押します。

→ ①ボタンを押すごとにグラフ表示が点灯／消灯を繰り返します。

グラフ表示が消灯しているときはリピートタイマー、グラフ表示が点灯しているときはオートリピートタイマーとなります。



アラームの使い方

時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム・時報を鳴らすには

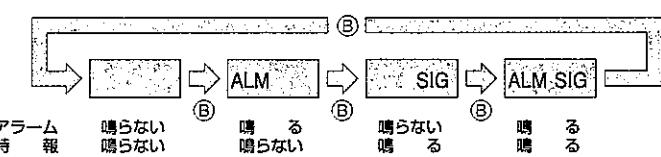
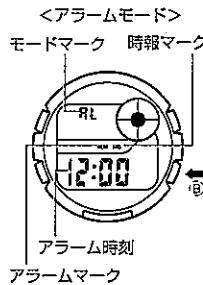
アラームモードのときに、

①ボタンを押します。

→ ①ボタンを押すごとに以下の順でアラームON/OFFおよび時報ON/OFFが切り替わります。

※なお、アラーム時刻をセットすると“ALM”が点灯し、自動的にアラームONとなります。

（「■アラーム時刻のセット」参照）



■ アラーム・時報の報知方法

● アラームONのとき

セットしたアラーム時刻になると、20秒間電子音が鳴ります。

● 時報ONのとき

毎正時(00分)になると、“ピッピッ”と電子音が鳴ります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ モニターアラーム

アラームモードのときに①ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■ 鳴っている電子音を止めるには

電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマー時間のセット

タイマーハンドルは「1分(0:01)」から「24時間(0:00)」まで、1分単位でセットできます。

(1) タイマーモードのときに、

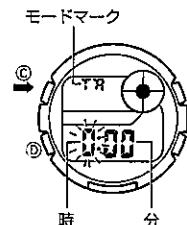
①ボタンを1~2秒間押します。

→ タイマーハンドルの「時」が点滅します。

(2) セット箇所を選ぶ

①ボタンを押します。

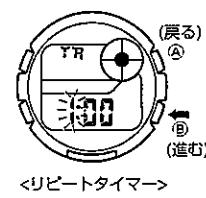
→ ①ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット

①または④ボタンを押します。

→ ①ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、④ボタンを押すと1つずつ戻ります。
※それぞれ押し続けると数字が早送りします。



★ 表示が点滅しているときに①ボタンを押すと、タイマーハンドル(リピートタイマー/オートリピートタイマー)が選べます。
(詳しくは左記「■ タイマー方法を選ぶ」参照)

(4) セット後、点滅を止めるには

①ボタンを押します。

※ セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

アラームの操作

アラームモードのときに①ボタンを3回押すと、アラームモードになります。

アラームは時・分を設定できます。セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。

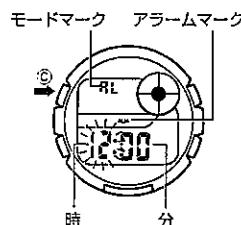
■ アラーム時刻のセット

(1) アラームモードのときに、

①ボタンを1~2秒間押します。

→ アラーム時刻の「時」が点滅します。

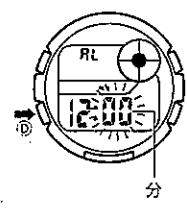
※ このとき“ALM”が点灯し、アラームONとなります。



(2) セット箇所を選ぶ

①ボタンを押します。

→ ①ボタンを押すごとに「時」「分」が交互に点滅しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



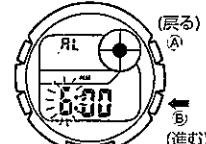
(3) 点滅箇所のセット

①または④ボタンを押します。

→ ①ボタンを押すと点滅箇所の数字が1つずつ進み、④ボタンを押すと1つずつ戻ります。
※それぞれ押し続けると数字が早送りします。

※「時」のセットのとき、12時間制では午前／午後(P)にご注意ください。

※時刻を24時間制にしているときは(24点灯)、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。



(4) セット後、点滅を止めるには

①ボタンを押します。

※ セット表示のまま2~3分経過すると自動的に点滅が止まります。

ストップウォッチの使い方

時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを1回押すと、ストップウォッチモードになります。
ストップウォッチは23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

■ 計測のしかた

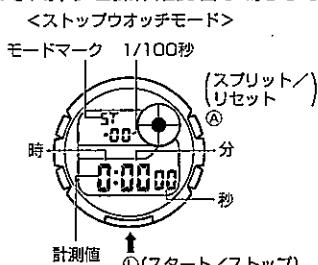
ストップウォッチモードのときに、

- ①ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします

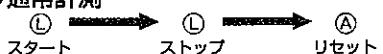
★計測中に①ボタンを押すと、スプリット計測となります("SPL"点灯)。もう一度①ボタンを押すとスプリットが解除されます。
(スプリット計測中は、表示は止まりますが内部では計測を続けています。)

★計測終了後①ボタンを押すと計測値が0に戻ります。

※①・②ボタンともそれぞれ押すと操作確認音が鳴ります。

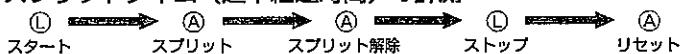


● 通常計測

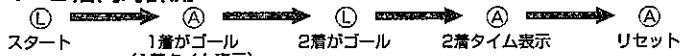


※積算計測…口タイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(①ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム(途中経過時間)の計測



● 1・2着同時計測



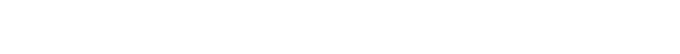
※積算計測…口タイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(①ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム(途中経過時間)の計測



※積算計測…口タイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(①ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● 1・2着同時計測



※積算計測…口タイムがある場合は、ストップ後リセットせずに再スタート(①ボタンを押す)すれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けるだけで文字板が発光するオートライト機能もあります。

本機は実際の日付で1999年12月25日以降ELライト(オートライト機能を含む)が発光するようになります。それまではELライトは発光いたしませんのでご注意ください。

※カレンダー設定を変えられても発光いたしません。

※日本より早く日付の変わる地域では、日本時間との時差の分だけ点灯開始時間がずれます。

■ ボタンを押して発光させる～手動発光～

●時刻・カレンダーモード、アラームモードのときは、
<時刻・カレンダーモード>

- ①ボタンを押します

●ストップウォッチモード、タイマーモードのときは、

- ①ボタンを押します

→約4秒間文字板が発光します。

※時刻・カレンダーモードのときは、①ボタンを押してから約2秒後に時刻表示が消えますが、発光が終わると再び表示します。

※オートライトのON/OFFにかかわらず、①または②ボタンを押すと発光します。



■ 時計を傾けて発光させる～オートライト機能～

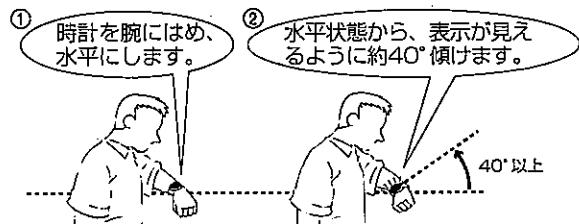
オートライト機能では、ボタンを押さなくても時間を傾けるだけで文字板が約2秒間発光します。

オートライトONマーク

準備] 時刻・カレンダーモードのときに①ボタンを約1~2秒間押して、"ON"を点灯させて「オートライトON」にします。

※もう一度①ボタンを約1~2秒間押すと"ON"が消え、「オートライトOFF」になります。

文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計が「手首の外側」にくるようにつけてください。

※このとき、文字板の左右(3時~9時方向)の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



<オートライトご使用時の注意>

●オートライトが作動するのは、"Auto"を点灯させてから約2時間です。それ以後は電池消耗防止のため、自動的に"Auto"が消え、オートライトOFFになります。

※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度①ボタンを約1~2秒間押して、"Auto"を点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。

●時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。

●文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約2秒間のみとなります。

●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると、発光しやすくなります。

<EL発光についての注意事項>

●直射日光下では、発光が見えにくくなります。

●発光中にいすれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。

●発光中に時計本体より音が聞こえることがあります。これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

ご使用上の注意

防水性 ●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※ BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとてください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なバッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド ●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがあります。人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度 ●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

●+60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック ●腕につけたままでモトクロス、チャーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどのショックが加わっても時計には影響ありません。

磁気 ●磁気の影響はありません。

薬品類 ●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管 ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れ ●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかかるないようにしてください。防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損なわれことがあります。

お手入れ ●「サビ」

を怠ると ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すくまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
●万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、ごまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

●長時間、直射日光に当たると、色あせする場合があります。

●長時間、濡れたままにしておくと色がおちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとて、乾かしてください。

●長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。

●プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて

塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。

●塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。

●塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■電池交換について

最初の電池 ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。時計本体価格に電池代は含まれておません。

※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗 ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立つたり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換 ●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数:32,768Hz

精度:平均月差±15秒以内

基本機能:月・日・曜日・時・分・秒、午前／午後（P）／24時間制表示（24）、フルオートカレンダー（1995～2039年）

ストップウォッチ機能:計測単位=1/100秒

計測範囲=23時間59分59秒99（24時間計）

計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測

タイマー機能:計測単位=1/10秒 セット単位=1分

タイムアップを10秒間の電子音で報知

アラーム機能:時刻アラーム セット単位=時・分 電子音=20秒間 時報 每正時に電子音で報知

その他の機能:自動復帰機能、12/24時間制表示切り替え、

EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートライト機能、モニターアラーム

主要回路素子:音叉型高性能水晶振動子 ワンチップCMOS-LSI

使用電池:CR-2016（電池別途販売）

電池寿命:約2年（1日あたりライト6秒間（ボタン押し4秒+オートライト2秒）、電子音20秒間使用した場合）